

## クイック・スタート・ガイド

このガイドでは、IBM Security Directory Integrator を素早く簡単にインストールする方法について説明します。標準インストールを実行することも、必要に応じてインストールをカスタマイズすることもできます。

**グローバル化:** IBM Security Directory Integrator 資料で、他の言語のクイック・スタート・ガイドを入手できます。

### 製品概要

IBM® Security Directory Integrator は、汎用的、多形式、多方向のリアルタイムでのデータの移動、同期、および変換のための統合開発環境およびランタイム・サービスです。

IBM Security Directory Integrator バージョン 7.2 には、次の 2 つのエディションがあります。

- IBM Security Directory Integrator バージョン 7.2: General Purpose Edition
- IBM Security Directory Integrator バージョン 7.2: Identity Edition

このクイック・スタート・ガイドは、両方のエディションと、サービス・ストリーム機能拡張バージョン 7.2.0.1 にあてはまります。

### 1 ステップ 1: ソフトウェアへのアクセス



本資料では、製品 DVD を使用して IBM Security Directory Integrator をインストールし、サービス・ストリーム機能拡張バージョン 7.2.0.1 のフィックスパックを適用する方法を説明します。

製品バージョン 7.2 をパスポート・アドバンテージからダウンロードした場合は、<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24035818> で入手できるダウンロード文書の説明に従ってください。

この製品オファリングには、以下のアイテムが含まれています。

- クイック・スタート CD
- IBM Security Directory Integrator バージョン 7.2
- IBM Security Directory Server バージョン 6.3.1
- IBM solidDB® 7.0

<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27010509> から、サービス・ストリーム機能拡張バージョン 7.2.0.1 のフィックスパックをダウンロードします。

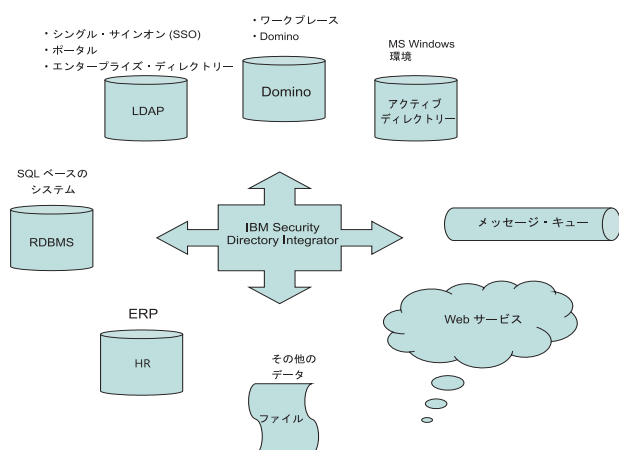
### 2 ステップ 2: ハードウェアおよびシステム構成の評価



インストールに必要な重要な構成設定を含むシステム要件については、IBM Security Directory Integrator 資料で、「システム要件」セクションおよび「インストールに関する説明」セクションを参照してください。

### 3 ステップ 3: 基本アーキテクチャーの確認

IBM Security Directory Integrator の基本アーキテクチャーを次の図に示します。



## 4 ステップ 4: IBM Security Directory Integrator ランチパッドからのインストーラーへのアクセス



このセクションは、IBM Security Directory Integrator バージョン 7.2 がシステムにインストールされていない場合に当てはまります。インストールされている場合は、ステップ 6 を参照して、サービス・ストリーム機能拡張バージョン 7.2.0.1 のフィックスパックを適用してください。

サーバー・コンピューターで、ご使用のオペレーティング・システム向けのインストールの実行可能ファイルにアクセスし、以下の手順を実行します。

1. 製品インストール DVD を挿入します。サポートされているすべてのオペレーティング・システムに対して 1 枚のみの DVD があります。Windows オペレーティング・システムでは、ランチパッドが自動的に開始します。その他すべてのオペレーティング・システムでは、IBM Security Directory Integrator ランチパッドの実行可能ファイルを実行してください。例えば、launchpad.sh を実行します。
2. ランチパッド・メニューから、「IBM Security Directory Integrator のインストール」を選択します。
3. インストール画面で、IBM Security Directory Integrator インストーラーをクリックして、インストール手順に従います。

## 5 ステップ 5: IBM Security Directory Integrator のインストール



このセクションは、IBM Security Directory Integrator バージョン 7.2 がシステムにインストールされていない場合に当てはまります。インストールされている場合は、ステップ 6 を参照して、サービス・ストリーム機能拡張バージョン 7.2.0.1 のフィックスパックを適用してください。

「標準」インストールまたは「カスタム」インストールを使用して、IBM Security Directory Integrator をインストールします。

- 「標準」インストールでは、サーバー、構成エディター、Javadoc、管理およびモニター・コンソール (Integrated Solutions Console Standard Edition (ISC SE) にインストールされます)、Action Manager、およびサンプルがインストールされます。
- 「カスタム」インストールでは、インストールする個々のコンポーネントを選択できます。

**注:** Password Synchronization Plug-ins は、標準インストーラーのカスタム・インストールを使用することでインストールされます。

詳しくは、IBM Security Directory Integrator 資料の「インストールに関する説明」セクションを参照してください。

## 6 ステップ 6: フィックスパックの適用



**前提条件:** IBM Security Directory Integrator バージョン 7.2 がシステムにインストールされている必要があります。

フィックスパック・アーカイブの readme ファイルの説明に従って、インストールします。詳しくは、IBM Security Directory Integrator 資料の「更新インストーラー」セクションを参照してください。

### 詳細情報



追加の技術情報は、以下の websites サイトを参照してください。

- IBM Security Directory Integrator 製品情報全般: <http://www-306.ibm.com/software/tivoli/products/directory-integrator/>
- IBM Security Directory Integrator 資料: <http://www-01.ibm.com/support/knowledgecenter/SSCQGF/welcome>
- IBM Security Directory Integrator 技術サポート: [http://www.ibm.com/support/entry/portal/product/security\\_systems/ibm\\_security\\_directory\\_integrator](http://www.ibm.com/support/entry/portal/product/security_systems/ibm_security_directory_integrator)

